

# PayPay投資信託インデックス アメリカ株式

追加型投信／海外／株式／インデックス型

## 交付運用報告書

第1期(2024年4月15日決算)

作成対象期間(2023年3月22日～2024年4月15日)

第1期末(2024年4月15日)	
基準価額	15,189円
純資産額	1,229百万円
騰落率	51.9%
分配金合計	0円

(注)騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

### 受益者の皆様へ

平素は「PayPay投資信託インデックス アメリカ株式」(以下、「当ファンド」という場合があります。)にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第1期決算を行ないました。当ファンドは、米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、CRSP USTータル・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なっております。当期につきましても運用の基本方針に沿った運用を行ないました。期中の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## PayPayアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地

サポートダイヤル

0120-580446

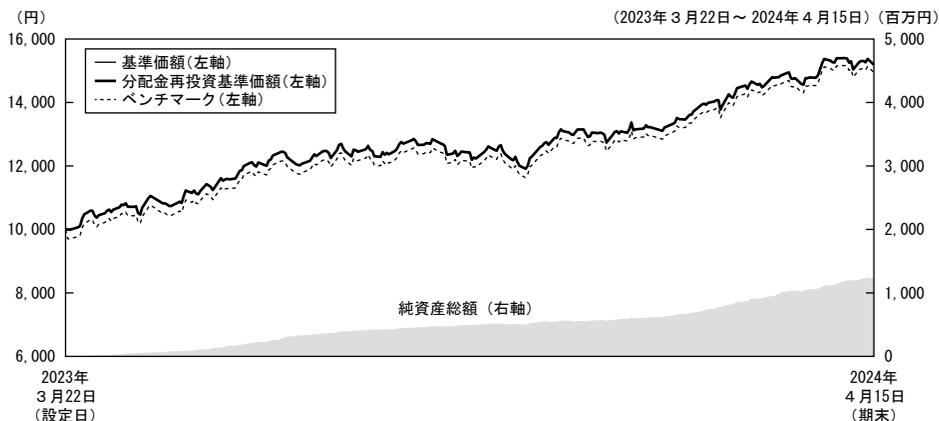
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

<https://www.paypay-am.co.jp>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第2項に規定する電磁的方法をいいます。)により提供する旨を定めております。上記「サポートダイヤル」に記載の弊社ホームページの「ファンド情報」のページより当ファンドの運用報告書(全体版)を閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

## 《運用経過》

## 【基準価額等の推移について】



設 定 日：10,000円

第1期末：15,189円（既払分配金 0円）

騰 落 率： 51.9%（分配金再投資ベース）

## ■基準価額の主な変動要因

米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）（ベンチマーク）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なった結果、ベンチマークが上昇したことなどから基準価額は上昇しました。詳しくは【投資環境について】をご参照ください。

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、分配を見送らせていただいた場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

\* ベンチマークは、CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、設定日の基準価額をもとに指数化したものです。

※CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、原則として基準価額計算日前日付のCRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、基準価額計算日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。

● 「CRSP USトータル・マーケット・インデックス」について  
CRSP®インデックスデータはThe Center for Research in Security Prices, LLC (CRSP®) 及び第三者のサプライヤーが独占的所有権を有しております。PayPayアセットマネジメント株式会社はその使用に関する許諾を受けておりますが、当該インデックスデータに関する知的財産権はCRSP®が所有しライセンスされたものであり、今後も継続します。CRSP®、シカゴ大学、シカゴ大学ブース・スクール・オブ・ビジネスは、当ファンドを提供、推薦、販売、宣伝するものではなく、当ファンドへの投資の妥当性について何らの表明を行うものではありません。

## 【1万口当たりの費用の明細】

項 目	第1期		項 目 の 概 要
	(2023. 3. 22~2024. 4. 15)		
	金 額	比 率	
信託報酬	7円	0.054%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は12,689円です。
（投信会社）	(2)	(0.018)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(2)	(0.018)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.019)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0.000	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数。売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
その他費用	34	0.271	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(34)	(0.268)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0.325	

\* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

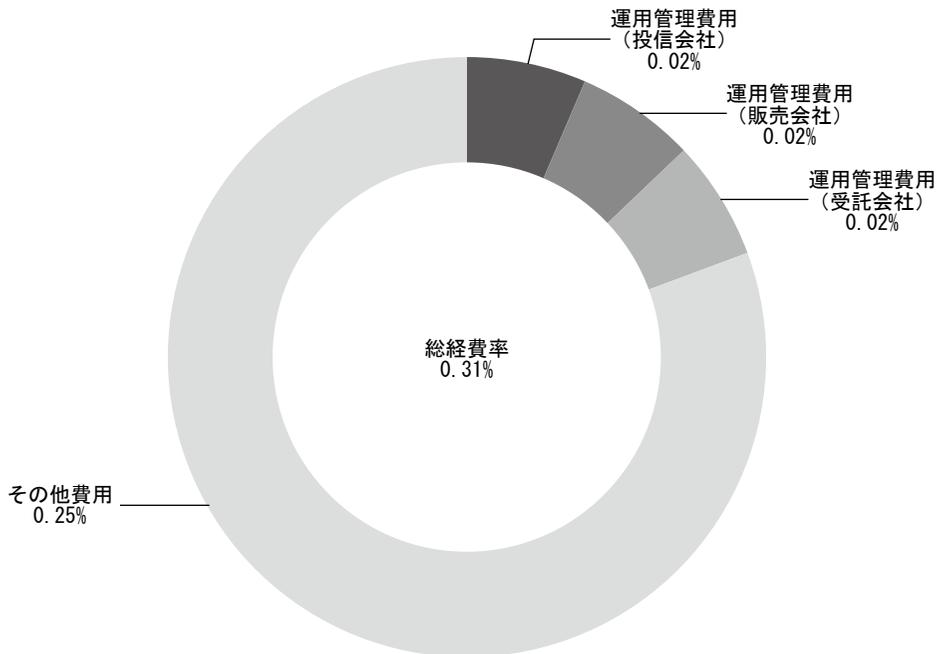
\* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.31%です。



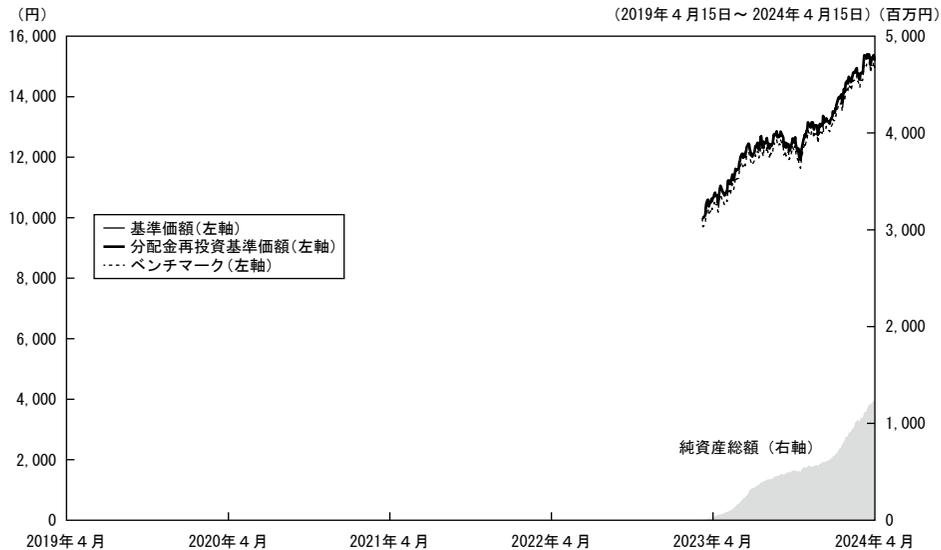
\*費用は、1万口当たりの費用の明細において用いた簡便法により算出したものです。

\*各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値です。

\*上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 【最近5年間の基準価額等の推移について】



- \*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。
- \*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- \*ベンチマークは、CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は1ページをご参照ください。ベンチマークは、設定日の基準価額をもとに指数化したものです。

		2019年4月15日	2020年4月15日	2021年4月15日	2022年4月15日	2023年4月17日	2024年4月15日
基準価額	(円)	—	—	—	—	—	15,189
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	—	—	—	—	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	—	—	—	—	—
ベンチマーク騰落率	(%)	—	—	—	—	—	—
純資産総額	(百万円)	—	—	—	—	—	1,229

\*当ファンドの設定日は2023年3月22日であり、一印は表示可能な値がないことを示しております。また、2023年4月17日は当ファンドの決算日ではないため、表示しておりません。

## 【投資環境について】

米国株式市場は、欧米の金融機関の信用不安に対する米連邦準備理事会（FRB）の積極的な対応などを受けて上昇して始まったものの、米国政府の債務上限問題を巡る不透明感などから2023年5月にかけて上値の重い動きとなりました。その後は、米国の物価指標の伸び鈍化などが買い材料視された一方、米国国債の格下げや米自動車大手企業によるストライキなどが売り材料視されるなど方向感無く推移しました。11月以降は、米国の長期金利の低下などを受けて反発し、米国景気がソフトランディング（軟着陸）に向かうとの見方などを背景に2024年3月にかけて堅調に推移しました。期末にかけては、中東を巡る地政学的リスクの高まりや米国の利下げ観測の後退などが重石となり、売りに押される動きとなりました。為替市場は、米国の長期金利の上昇などを背景に円安ドル高基調で推移しました。

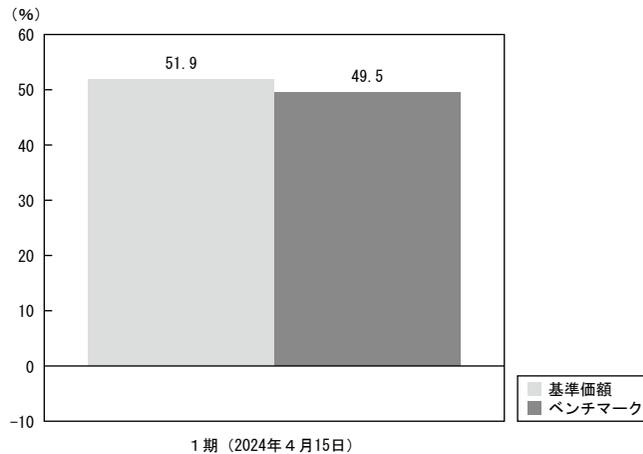
## 【ポートフォリオについて】

当ファンドは、米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なうことを基本としています。なお、投資信託証券への投資に代えて、株価指数先物取引を利用する場合があります。

当期も、運用の基本方針に則り、米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないました。

※当ファンドにおいて、米国の企業の株式への投資は、上場投資信託証券であるバンガード・トータルストックマーケット・ETF（「投資信託証券」という場合があります。）を通じて行ないません。

## 【ベンチマークとの差異について】



当期の当ファンドの基準価額の騰落率は+51.9%、ベンチマークの騰落率は+49.5%となりました。設定当初における有価証券の売買のタイミングがプラス要因となりました。一方、その他費用（保管費用等）や信託報酬、有価証券売買時の売買委託手数料等がマイナス要因となりました。また、保有有価証券とベンチマークとの騰落率の差異もかい離要因としてあげられます。

## 【分配金について】

収益分配金（1万口当たり、課税前、以下同じ）については、分配原資の積み上がり状況等を勘案し、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し元本部分と同一の運用を行ないます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	第1期	
	2023年3月22日 ～2024年4月15日	
当期分配金(税込み)	－円	
(対基準価額比率)	－%	
当期の収益	－円	
当期の収益以外	－円	
翌期繰越分配対象額	5,188円	

- \* 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- \* 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- \* 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

今後も米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）（ベンチマーク）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なってまいります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 《お知らせ》

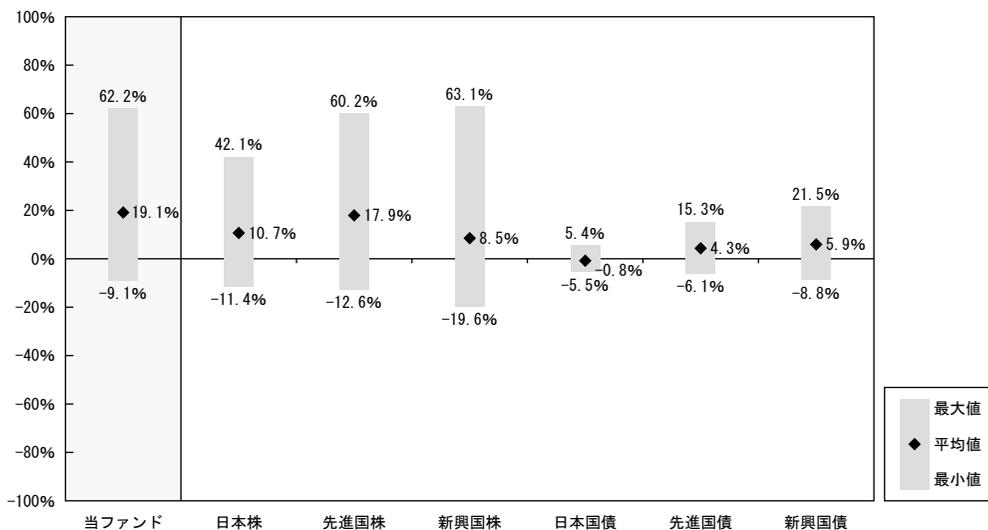
投資制限の追加（デリバティブ取引について、つみたてNISAの対象要件を満たすことを明確にするもの）に係る投資信託約款の変更を2023年12月14日付で行ない、同日付で適用いたしました。

## 《当ファンドの概要》

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型
信託期間	無期限です。ただし、元本金額が10億円を下回った場合などはファンドを終了（繰上償還）させる場合があります。
運用方針	この投資信託は、CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないます。
主要投資対象	主として、投資信託証券（金融商品取引法第2条第1項第10号に規定する投資信託及び外国投資信託の受益証券並びに同項第11号に規定する投資証券及び外国投資証券をいい、この投資信託においては、上場投資信託証券とします。）に投資を行ないます。
運用方法	<p>①米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないます。なお、投資信託証券への投資に代えて、株価指数先物取引を利用する場合があります。</p> <p>②運用実績等を勘案した上で投資信託証券の選定等を行ないます。</p> <p>③米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券の投資割合は、原則として高位を保ちます。</p> <p>④外貨建資産（投資信託証券を通じて実質的に組入れる外貨建資産を含みます。）については、原則として為替ヘッジを行ないません。</p> <p>⑤市場動向、資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
分配方針	<p>①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。</p> <p>②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。</p> <p>③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行ないます。</p>

## 〈 参 考 情 報 〉

## ◆代表的な資産クラスとの騰落率の比較



・上記は、2019年4月から2024年3月の5年間ににおける1年騰落率の最大・最小・平均を代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドについては、過去5年分のデータがないため、算出可能な期間についてのみ表示しています。ファンドの年間騰落率がない期間についてはベンチマークの年間騰落率で代替して表示しております。

・各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBP-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※騰落率は直近前月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

## 《ファンドデータ(2024年4月15日現在)》

## 【当ファンドの組入資産の内容】

## ■組入(上位)銘柄

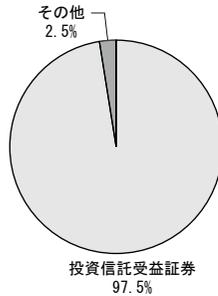
(組入銘柄数: 1銘柄)

銘柄名	比率(%)
バンガード・トータルストックマーケット・ETF	97.5

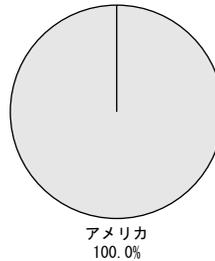
\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

\*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

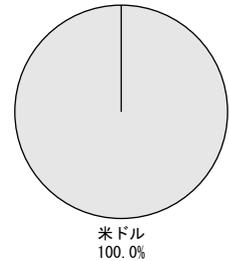
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



\*資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分、通貨別配分の比率は、投資信託受益証券全体に対する評価額の割合です。

## 【純資産等】

項目	第1期末
	2024年4月15日
純資産総額	1,229,278,014円
受益権総口数	809,321,753口
1万口当たり基準価額	15,189円

\*当期中における追加設定元本額は1,297,742,540円、同解約元本額は493,420,787円です。